

琉球泡盛と過ごす島時間



変わらず受け継がれてきた製法で 地域ごとに育まれた琉球泡盛

大陸の彼方より伝来し、600年以上もの歴史を持つ沖縄の地酒「泡盛」。そんな生い立ちを聞くと、ちょっと恐れ多いような気もするけれど、沖縄の人たちにとっては、いつも隣りにいる親友のような存在です。そして泡盛の持つ魅力は、地域によって味や香りが異なること。亜熱帯の風やゆったりと流れる時間、その地域ならではの空気感がじっくりと溶け込み、さらに人の手をかけて、おいしく育まれているのです。泡盛を味わう旅へ出かけてみませんか。



まあるいフォルムに上向きの注ぎ口がかわいらしい酒器・カラカラ。泡盛を注ぐ際、空気に触れることで、味に深みが増すという。

那覇・本島南部

Naha & South of Main Island



1.鮮やかな朱色が印象的な首里城。2.厳かな雰囲気の高場御嶽。3.でき上がった泡盛を甕で保存。4.世界一の長さを誇る那覇大綱挽。

国王も味わったであろう泡盛を 心ゆくまで堪能したい

那覇から南下するにつれ、やわらかな青へと変化する海。6つの市町からなる本島南部は、沖縄を訪れる女性たちに人気のあるエリアです。斎場御嶽をはじめ琉球神話にまつわる聖地がいくつもあり、地元の人だけでなく多くの旅行者も訪れ、その魅力に触れています。中でも古都・首里は、琉球王朝時代の名残を感じられる場所。その昔、泡盛造りは王府によって管理され、首里だけで造られていました。現在もかつてと変わらない味わいを育み続けています。

このエリアの酒造所

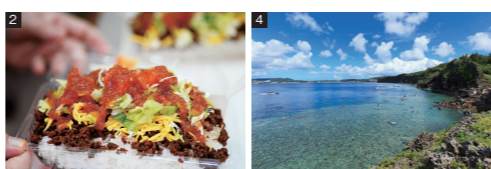
石川酒造場	瑞泉酒造	久米仙酒造	神谷酒造所
沖縄県酒造協同組合	謙名酒造	忠孝酒造	
瑞穂酒造	津波古酒造	まさひろ酒造	
映元酒造	宮里酒造所	上原酒造	

本島中部

Central of Main Island

新しい感性と異なる文化が 泡盛にゆる〜りと溶け込んで

県都・那覇から北へ車を走らせると、通りには外国語で書かれた看板があちらこちらに見え始めます。外国人が多く住む本島中部は、沖縄の文化とアメリカンカルチャーがミックスした“チャンプルー文化”の息づくエリアです。また、作り手の個性が光る焼き物や牛同士が激しくぶつかり合う闘牛など、独特の文化が育まれた地域でもあります。異国の感性を大らかに受け入れて造られてきた泡盛は、ふくよかな香りや深みのある味わいが楽しめます。



1.沖繩市・空港通り。2.県民食・タコライス。3.沖縄の焼き物「やちむん」
4.ダイビングスポット恩納村・真栄田岬。5.迫力満点の闘牛。

このエリアの酒造所

神村酒造	琉球泡盛古酒の郷
比嘉酒造	
新里酒造	
北谷長老酒造工場	

本島北部

North of Main Island



1.稀少な動植物が生息するやんばる。2.橋で渡れる古宇利島。3.泡盛によく合う豚肉料理。4.濃い桃色のカンヒザクラ。5.備瀬のフクギ並木。

濃密なエネルギーを含む泡盛は 滋味深く、豊かな味わい

やんばる（山原）とは、沖縄本島北部にある山林地帯のこと。亜熱帯の木々が生い茂り、清らかな川や滝が流れ、そこはまるでジャングルのよう。手つかずの自然を感じることができる場所です。そんな森から放たれる空気は、とても濃密でエネルギーが。この地域で造られるのは、おいしいお酒になるようにと手間を惜しまず、昔からの技法を守り、やんばるのエネルギーをギュッと詰め込んだ、滋味深い味わいと豊かな香りが楽しめる泡盛です。

このエリアの酒造所

伊平屋酒造所	山川酒造	恩納酒造所
伊是名酒造所	龍泉酒造	金武酒造
やんばる酒造	津嘉山酒造所	崎山酒造廠
今帰仁酒造	へリオス酒造	

久米島

Kume Island

清らかな天然水から生まれる やわらかで芳醇な島酒

サンゴ礁に囲まれた島・久米島。琉球でもっとも美しい島と称され、「球美（くみ）の島」とも呼ばれています。島では岩の間から湧き出る水が豊富で、泡盛造りにも活かされています。泡盛の材料は、米、黒麹、酵母、そして水。素材同士が溶け合い、温度や湿度といった自然の力を借りながら、シンプルな素材が豊かな味へと変わります。天然水を使って造られる泡盛は、口当たりがやわらかで、芳醇な香りが漂います。



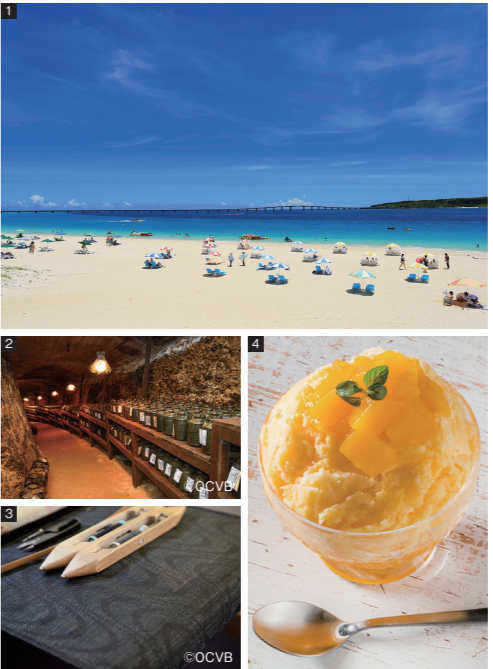
1.亀の甲羅のような畳石。2.神秘的な岩・ミーフガー。3.生産量日本一の車えび。4.国の重要文化財・上江洲家。5.砂浜だけの島・はての浜。

このエリアの酒造所

久米島の久米仙
米島酒造

宮古諸島

Miyako Islands



1.与那覇前浜ビーチ。2.寝かせるほどおいしくなる泡盛の貯蔵庫。3.緻密な手技が織りなす宮古市布。4.甘くてひんやりマンゴーかき水。

寝かせるほどにおいしくなる 島人たちに愛される泡盛

東洋一の美しさと言われ、さまざま青のグラデーションが見られることから「宮古ブルー」と呼ばれる宮古島の海。小さな離島と結ばれた橋からの絶景もおすすめで、爽快なドライブを楽しむことができます。サンゴ礁が隆起して生まれた島は地下水に恵まれ、その水はミネラルが豊富な硬水。良質な水で造られる泡盛は、ゆっくりと時間をかけて寝かせるほど熟成され、芳醇な香りとまろやかで深い味わいに。古くから島人たちに愛されている味です。

このエリアの酒造所

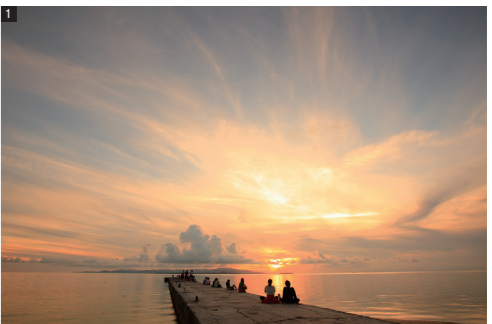
池間酒造	渡久山酒造
菊之露酒造	宮の華
沖之光酒造	
多良川	

八重山諸島

Yaeyama Islands

自然も文化も泡盛も 島ごとに異なる魅力を持つ

メインアイランド・石垣島をはじめ、赤瓦の民家が立ち並ぶ竹富島や、島全体がジャングルのような西表島、日本最西端の与那国島など、たくさんの島が集まっている八重山。小さな島々には船で渡ることができ、日帰りで訪れたり、気に入った島に滞在するなど、アイランドホッピングが楽しめます。島の魅力が異なるように、泡盛の味わいもそれぞれ個性的。伝統的な技法を今に受け継ぎながら、その土地に合った泡盛造りを行っています。



1.人気の夕日スポット竹富島・西棧橋。2.沖縄の原風景が残る竹富島。3.八重山の美しい海の中。4.水牛車で散歩する由布島。5.八重山そば。

このエリアの酒造所

高嶺酒造所	仲間酒造所	崎元酒造所
八重泉酒造	請福酒造	国泉泡盛
玉那覇酒造所	波照間酒造所	
池原酒造	入波平酒造	